

挑戦する夏！価値ある失敗の中から

安城中部小学校長 稲留 雄一

早いもので、1学期も終わりを迎えます。これまで、保護者の皆様や地域の皆様にはたくさんのお力をお借りしながら、学校教育をすすめることができましたことに、深く感謝申し上げます。

安城中部小学校では、6年生や委員会を中心に、子どもたち自身の手でいろいろな取組（行事等）を企画したり運営したりする機会をこれまで以上に増やすようにしています。

「もっと運動に親しんでほしい」「みんなを楽しませてあげたい」「中部小学校のみんながもっと仲良くなるようにしたい」等、子どもたちはそれぞれの願いをもって企画・運営を進めています。それでも思うように進まないこともあります。私たちが大切にしているのは、そのあとの振り返りです。うまくいったことは大いに喜びます。一方で、思うようにいかなかった部分をじっくり振り返って、子どもたちなりにその原因を考える場を準備します。次にやるとしたら、「どんな進め方をするのか」「何に気を付けるのか」といった、なるべく具体的な視点で次への見通しを立てさせて締めくくることができるようにしています。

いつも大人が手を貸していると、子どもはいつまでも大人の力に頼り、自分たちで考え、主体的に活動する姿にはつながりません。成功経験はとても大切ですが、それと同じくらい失敗やつまずきを経験することも大切だと考えています。

そのためにも、日ごろから子どもたちを丁寧にとらえ、支え、安心して挑戦できる環境を作ったり、うまくいかなかったことを責めるのではなく、挑戦したこと自体をほめ、次に生かすことにこそ大きな価値があるのだということを丁寧に伝えたりする必要があります。大人が準備したほうがはるかに早かったり、うまくいったりすることばかりですが、「おいしい魚をあたえるのではなく、釣り方を身に付けさせたい」そんな願いをもって、これからも学校教育を進めてまいります。

1日の終わりに泣き出した4歳児、理由に2.1万人いいね。「いえた娘もえらい」「すてきな子育て」

〇〇さんは2児のパパ。ある夜、4歳の娘さんにあることを言われたそう。

さっき2階で寝たはずの4歳娘が1階に降りて来て「きょうは一度もほめられてない」「いつもほめてくれるのに」と泣きついてきた。

自分は娘を毎日ほめていたんだと気付かされたよ。今日はおめんね。

(Yahoo ネットニュースより一部抜粋)

いよいよ夏休みが始まります。ご家庭で過ごす時間も長く、子どもたちの伸びようとする芽もたくさんご覧になることができると思います。子どもたちが挑戦する機会を準備し、その姿を支え、じっくりと見守りながら成長を楽しんでみてはいかがでしょうか。価値ある失敗は子どもたちを大きく成長させます。一方で「イライラ」なんていうこともあるかもしれません。お気持ちお察しします。

9月2日の始業式に、子どもたちと元気に会えることを楽しみにしています。

6年生が中心になって作った安城七夕まつりの竹飾りもぜひご覧ください。



